

令和元年度 豊川市男女共同参画に関する事業所意識調査

■調査の概要

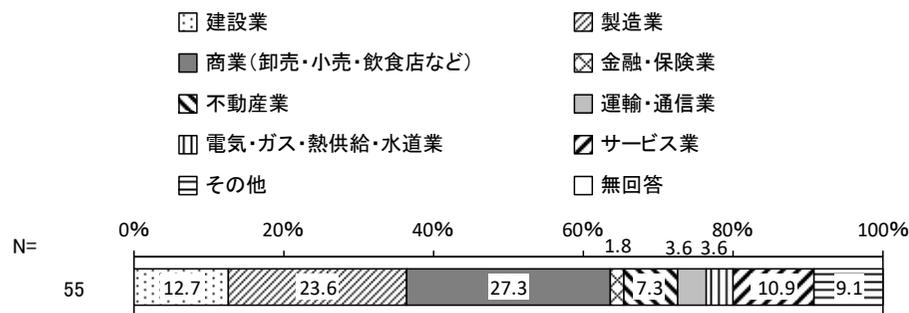
- 1.調査対象 : 豊川市内の事業所から200事業所を無作為抽出
 2.調査方法 : 郵送配布、郵送回収
 3.調査期間 : 令和元年10月28日(月)～11月18日(月)
 4.有効回収数 : 55件
 5.回収率 : 27.5%

■調査項目

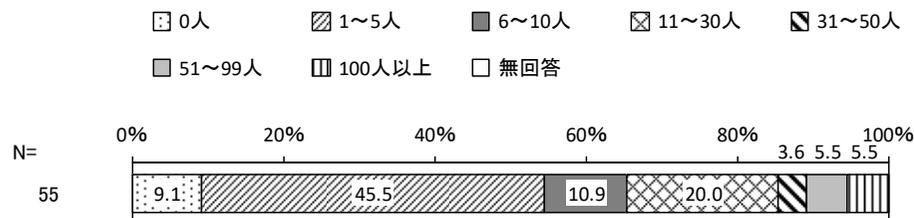
- 1事業所の概要について
 2男女共同参画について
 3女性従業員の人材活用について
 4ハラスメントについて
 5ワーク・ライフ・バランスについて
 6女性従業員が働きやすくなるための取組について

◆事業所の概要

【業種】



【従業員数(全従業員数)】



【従業員の割合(業種別)】

上段:人数(人)、下段:割合(%)

	事業所数(件)	1事業所あたりの正社員平均人数(人)	正社員		パート		派遣社員	
			性比	男性	女性	男性	女性	男性
全体	55	20.1 0.47	751 51.8	353 24.4	80 5.5	241 16.6	3 0.2	21 1.4
建設業	7	4.1 0.21	24 72.7	5 15.2	0 0.0	4 12.1	0 0.0	0 0.0
製造業	13	27.8 0.32	275 57.5	87 18.2	45 9.4	54 11.3	3 0.6	14 2.9
商業	15	4.1 0.27	49 30.8	13 8.2	26 16.4	70 44.0	0 0.0	1 0.6
金融・保険業	1	517.0 0.70	305 50.6	212 35.2	0 0.0	82 13.6	0 0.0	4 0.7
不動産業	4	0.5 1.00	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
運輸・通信業	2	15.5 0.35	23 63.9	8 22.2	0 0.0	3 8.3	0 0.0	2 5.6
電気・ガス・熱供給・水道業	2	2.5 0.25	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
サービス業	6	12.2 0.22	60 60.6	13 13.1	9 9.1	17 17.2	0 0.0	0 0.0
その他	5	4.6 1.30	10 29.4	13 38.2	0 0.0	11 32.4	0 0.0	0 0.0

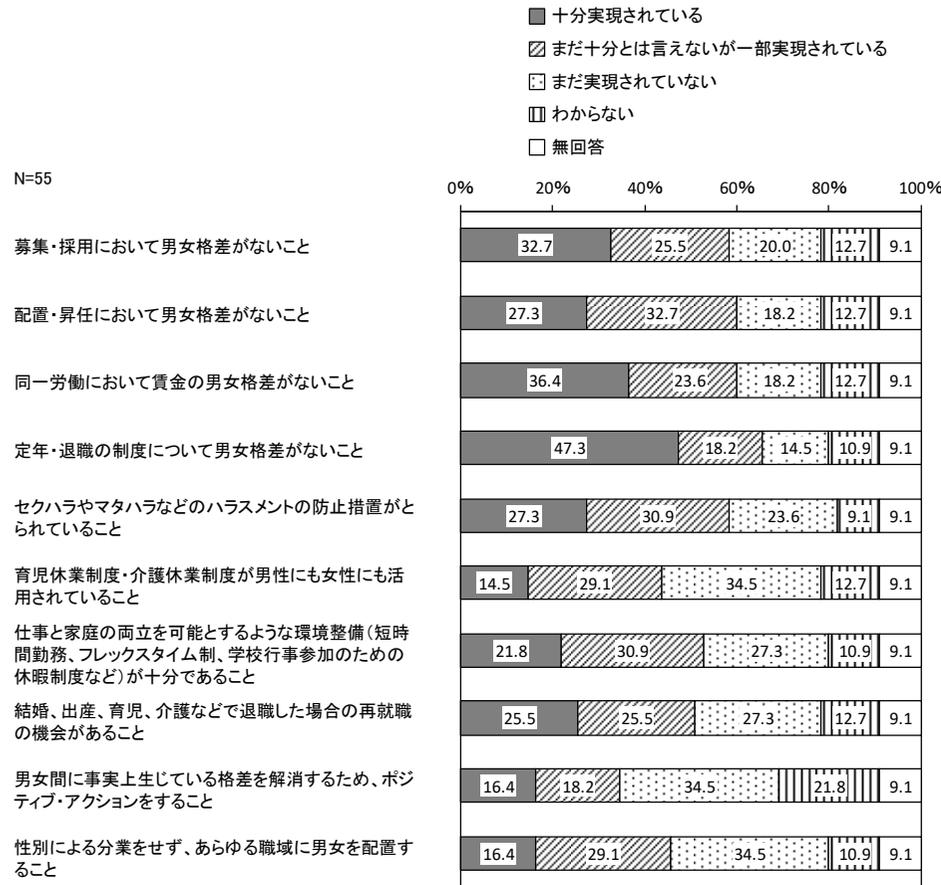
【従業員の割合(従業員の規模別)】

上段:人数(人)、下段:割合(%)

	事業所数(件)	1事業所あたりの正社員平均人数(人)	正社員		パート		派遣社員	
			性比	男性	女性	男性	女性	男性
全体	55	20.1 0.47	751 51.8	353 24.4	80 5.5	241 16.6	3 0.2	21 1.4
19人以下	44	3.6 0.45	109 46.6	49 20.9	14 6.0	57 24.4	0 0.0	5 2.1
20～49人	5	11.6 0.09	53 36.1	5 3.4	25 17.0	62 42.2	0 0.0	2 1.4
50～99人	3	47.3 0.21	117 53.7	25 11.5	41 18.8	35 16.1	0 0.0	0 0.0
100人以上	3	248.7 0.58	472 55.5	274 32.2	0 0.0	87 10.2	3 0.4	14 1.6

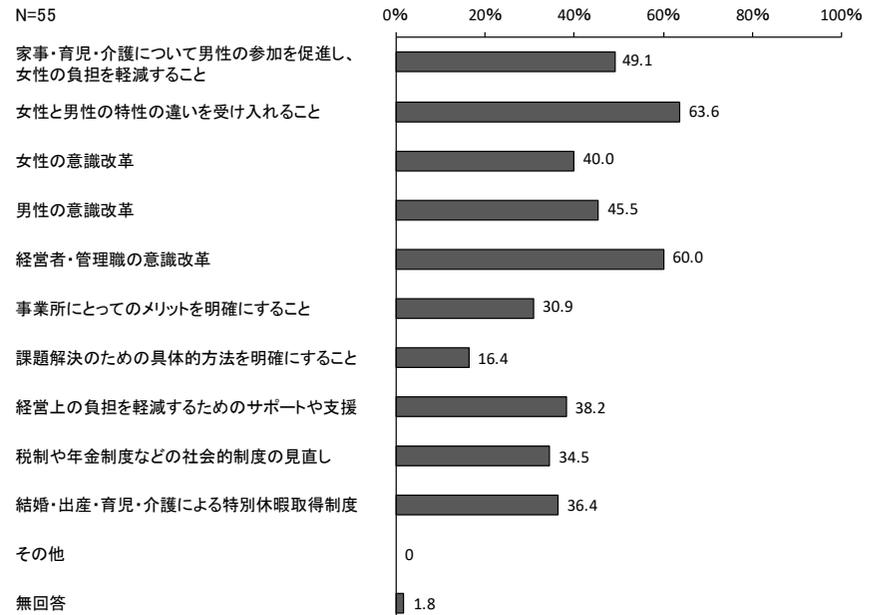
◆男女共同参画の進捗状況

「十分理解されている」の割合が最も高いのは、「定年・退職の制度について男女格差がないこと」の47.3%で、次いで「同一賃金において賃金の男女格差がないこと」の36.4%となっています。



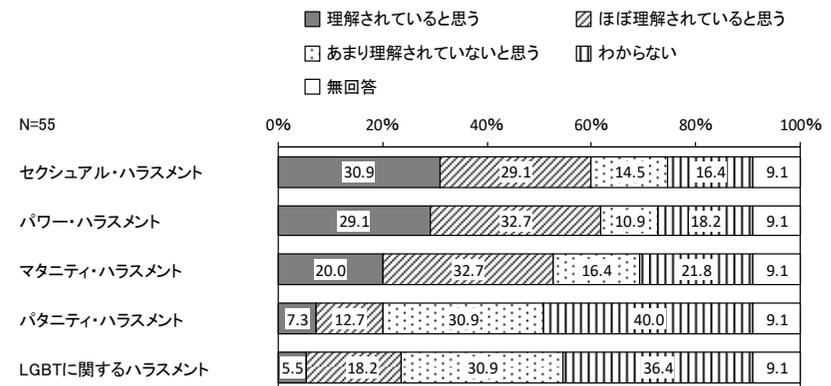
◆職場における男女共同参画推進に必要なこと

「女性と男性の特性の違いを受け入れること」の割合が63.6%と最も高く、次いで「経営者・管理職の意識改革」の割合が60.0%となっています。



◆ハラスメントについての従業員の共通理解

「理解されていると思う」の割合が最も高いのは、「セクシュアル・ハラスメント」の30.9%で、次いで「パワー・ハラスメント」の29.1%となっています。



令和元年度 豊川市男女共同参画に関する市民意識調査

■調査の概要

- 1.調査対象 : 豊川市内の18歳以上の男女各1,000人を無作為抽出
- 2.調査方法 : 郵送配布、郵送回収
- 3.調査期間 : 令和元年10月28日(月)～11月11日(月)

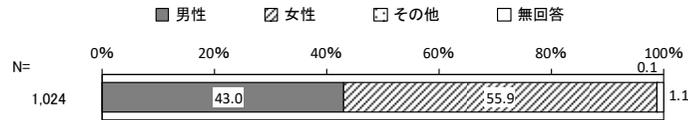
- 4.有効回収数 : 1,024件
- 5.回収率 : 51.2%

■調査項目

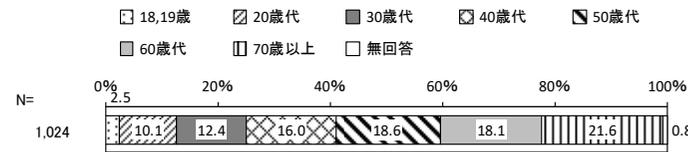
- | | | |
|-------------|--------------|-----------------------|
| 1回答者属性 | 4子育てについて | 7人権(DV、セクハラ、LGBT)について |
| 2男女の平等感について | 5介護について | 8男女共同参画について |
| 3性別役割分担について | 6仕事や社会参加について | |

◆回答者の属性

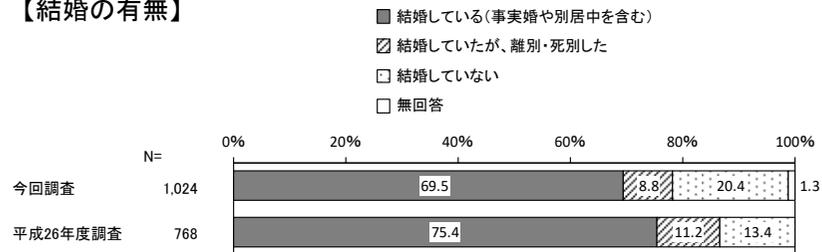
【性別】



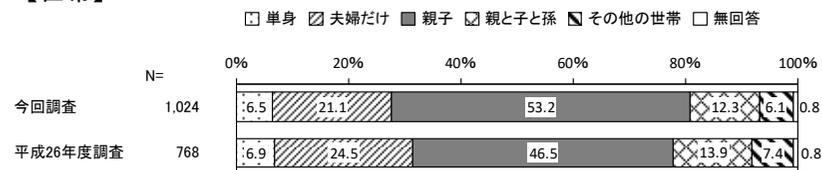
【年齢】



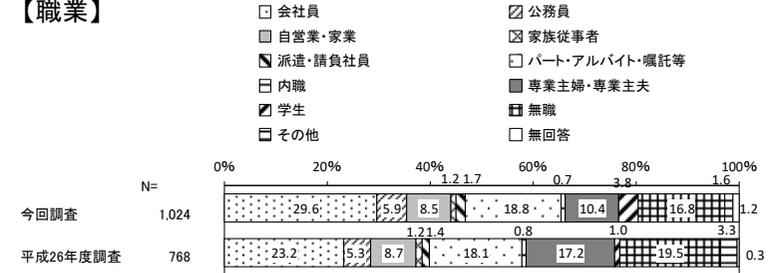
【結婚の有無】



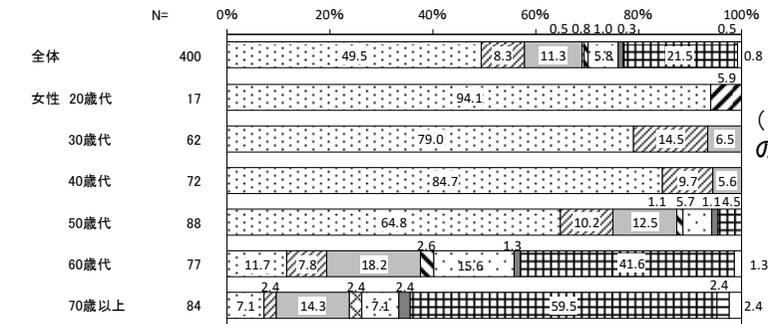
【世帯】



【職業】

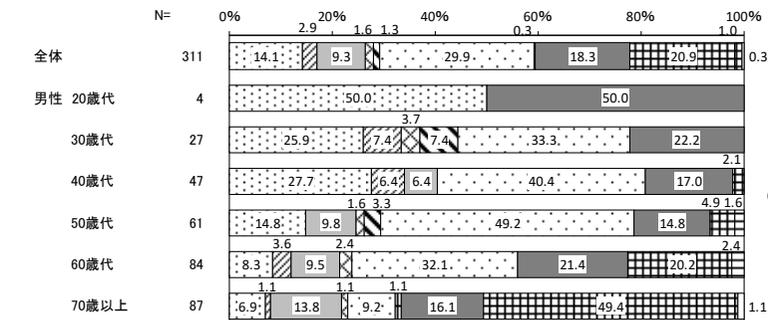


【配偶者(夫)の職業】



(* 18,19歳はn=0のため省略)

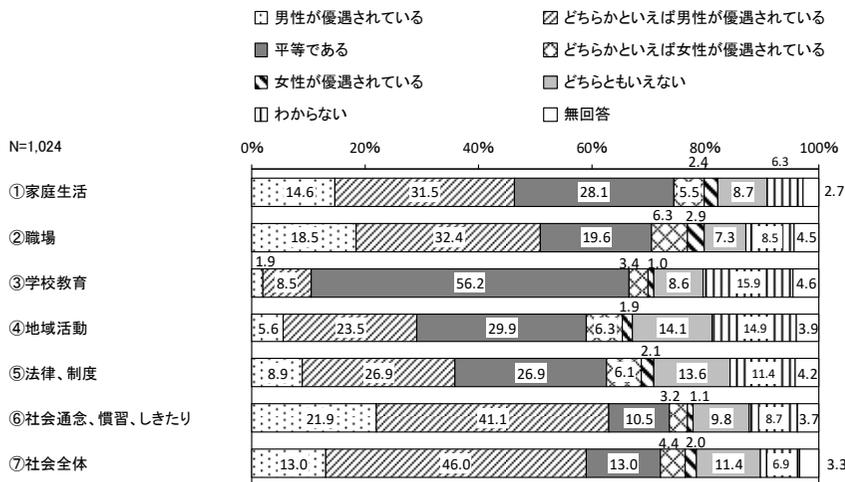
【配偶者(妻)の職業】



(* 18,19歳はn=0のため省略)

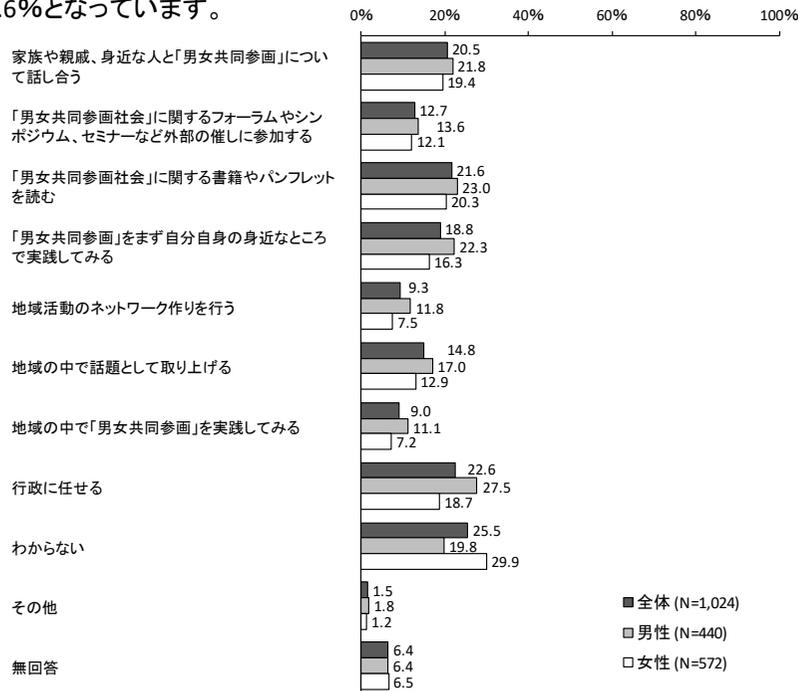
◆男女平等の現状について

「平等である」の割合は、「③学校教育」で56.2%と最も高く、次いで「④地域活動」の割合が29.9%となっています。



◆「男女共同参画社会」を実現するために実践したいこと

「わからない」の割合が25.5%と最も高く、次いで、「行政に任せる」の割合が22.6%、「男女共同参画社会」に関する書籍やパンフレットを読む」の割合が21.6%となっています。



◆性別役割分担について

(「男は仕事、女は家庭」という考え方について)

男女とも、他の年代に比べ、70歳以上で、「同感する」と「ある程度同感する」を合わせた“同感する”の割合が高くなっています。

